

令和元年第2回議会定例会における行政概要報告書

(平成31年2月16日から令和元年5月31日まで)

1 「るるぶ特別編集 那珂」の配架について

本年2月に発行しました「るるぶ特別編集 那珂」を市のPR活動の一つとして、県内では茨城空港をはじめアクアワールド・大洗、竜神大吊橋、道の駅など、県外ではイバラキセンスなど数多くの観光スポットに配架しました。また、高速路線バス「いい那珂暮らし」号の座席ポケットにも閲覧用として備え付けました。

2 那珂地区更生保護サポートセンターについて

瓜連支所に、「那珂地区保護司会」が運営する「那珂地区更生保護サポートセンター」が開設され、4月19日に開所式が行われました。

那珂地区更生保護サポートセンターは、那珂市と常陸大宮市で活動する保護司が地域の関係機関・団体と連携しながら、地域で更生保護活動（犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支える活動）を行うための拠点施設で、開所時間は月・水・金曜日の10時から16時までとなっています。

3 ライフデザイン形成支援事業について

8年生を対象に、ライフデザインを形成する必要性や自身の問題として気づいてもらうとともに、後のライフプランに応じた就学や就業先を選択する必要性を理解・実践することを可能にし、結婚、出産、子育てなど若い世代の希望をかなえる一助とするべく、平成30年度新規事業として取り組んだライフデザイン講座が、市内全中学校（450人）において終了しました。グループに分かれたワークショップでは、各中学校とも賑やかに楽しく意見交換しながら自身の将来を考え、事前事後のアンケート結果でも、「結婚したいか？」が59%から79%に、「結婚後も働きたいか？」が73%から84%に、「ライフデザインを考えることは大事か？」では、94%が「大事」と回答するなど、今後の那珂市を担う若い世代が将来に向けて夢や目標に邁進し、充実した人生を切り拓こうとする機運の醸成を図ることができました。

4 いい那珂暮らし住まいづくりフェアの開催について

3月17日、市立図書館多目的室において、「いい那珂暮らし住まいづくりフェア」を開催しました。住宅取得を検討している方に向けて、市内の物件や生活環境、返済計画等

の情報を提供することで、市への興味喚起、定住後の不安軽減を図るとともに、市と市内の不動産事業者や金融機関、ファイナンシャルプランナー団体との協力・連携により、市への移住定住を具体的に検討をしてもらう目的で開催しました。市内外から参加された方は22組45人を数え、マネープランセミナーでは講師の話を熱心に聞き入り、各事業所のブースや分譲地などの現地見学会にも多くの方にご参加いただくなど、市主催ならではの安心感を持った事業となり、市内への移住定住がますます進むことを期待しています。

5 本米崎小学校跡地における学童保育所の開所について

3月25日、本米崎小学校跡地が特定非営利活動法人虹のポケットによる「学童保育園 子コロっコロ 本米崎クラブ」として新たなスタートを切りました。3月22日には市長も招かれて開園記念式典が催され、平成27年3月に閉校となって以降、再び子どもたちの声が響く賑わいある場所として有効活用を図ることができました。安心して子どもを産み育てられる環境が整備されたことにより、働く女性の支援・拡充に結び付け、子育てしやすく住みよい那珂市の充実に貢献してまいります。

6 ひまわりタクシーの水戸市内運行及び水戸京成百貨店との連携協定締結について

市が運営主体の地域公共交通であるデマンド交通「ひまわりタクシー」について、利用者や市民からの要望が高かった運行便数や運行台数の増、土曜日の運行に加え、水戸市への運行などの見直しを行い、4月1日から新たな形態による運行を開始しました。水戸市への乗り入れ（水戸駅北口：降車のみ、水戸京成百貨店：乗降可）については、茨城県央地域定住自立圏共生ビジョンにおける公共交通の維持・確保として、水戸市への域外運行の検討が方針として示されており、市民の利便性の向上はもちろんのこと、圏域の結び付きやネットワークの強化に繋がるものとなります。また、「水戸京成百貨店」とは、市特産品の販売や市産野菜のサラダバーの提供、市主催のマッチングフェアでの連携など様々な相互連携の実績に加え、この度「ひまわりタクシー」の乗降場所として指定したことを契機に、「地域連携・協力に関する協定書」を締結する運びとなり、4月3日、水戸京成百貨店にて調印式を執り行いました。今後さらに地域及び産業の振興や地域経済の活性化を図り、地方創生や社会への貢献に資するべく様々な取組みを実施してまいります。

7 多文化共生セミナーの開催について

2月16日、市立図書館において、多文化共生セミナーを開催しました。理学博士であり、マサチューセッツ工科大学などで研究員として活躍されている^{おおすかときお}大須賀関雄氏を講師に

迎え「多文化共生とはどういうことか」と題し、海外での豊富な経験を基に講演を行いました。参加者は46人でした。

また5月18日、市立図書館において、国際交流協会の総会後に多文化共生セミナーを開催しました。「古代の歴史が息づく国イラン編」と題し、イランの習慣や食生活のお話、楽器の実演など、イラン出身の エブラヒム・マスケットさんによる講演会を行いました。参加者は38人でした。

8 男と女輝いて生きる講演会の開催について

2月17日、総合センターらぼーるにおいて、男と女輝いて生きる講演会を開催しました。日本で唯一のパパ料理研究家として全国で活躍されている滝村雅晴氏たきむらまさはるを講師に迎え「ママと子どもに作ってあげたいポップごはん」と題し、手軽に作れるパパレシピや家庭での仕事と生活の調和（ワークライフバランス）などの講演を行いました。参加者は93人でした。

9 ふれあいパーティーの開催について

3月2日に、水戸市内の会場で、結婚を望む方の出会いを提供する「いいなカンパニー 鍋コン」を開催しました。男女各12人の参加者は、食事をとりながらゆったりとした空間の中で会話をはずませ、4組のカップルが成立しました。

10 協働のまちづくり推進フォーラムについて

3月9日、総合センターらぼーるにおいて、協働のまちづくり推進フォーラムを開催しました。五台地区まちづくり委員会と市民活動団体3団体の事例発表の後、常磐大学コミュニティ振興学部長の池田幸也教授いけだゆきなりを講師に迎え、「市民参加を進めるために」と題し、シンポジウム形式で基調講演を行いました。参加者は292人でした。

11 防災教育について

3月5日、8日小中学校給食において、災害に備え備蓄している非常用食料（カレー）を試食してもらいました。

また、3月11日には「東日本大震災」の記憶を風化させることのないよう、市内小中学校の児童生徒に、非常用食料（ビスケット）を配布し、万が一の災害に備えて食料を備蓄する大切さを学ぶ機会としました。

今後も様々な機会に防災教育を行い、災害に備える意識高揚をめざし、防災・減災対策を進めてまいります。

12 下水道事業について

公共下水道事業については、平成30年度に工事が完了した、額田地区の8.4ha、後台地区の7.0ha、戸多地区の8.8ha、中里地区の1.3haについて、4月1日に供用開始しました。

また、農業集落排水整備事業については、酒出地区の令和2年4月供用開始に向けた処理場建設工事及び管路敷設工事を行い、平成30年度末現在の整備率は82%となりました。

13 薬物乱用防止のための健康講座の開催について

3月6日、総合保健福祉センターひだまりにおいて、常陸大宮薬剤師会の薬剤師山口直^{ぐちすなお}氏を講師としてお招きし、「薬物乱用防止のための健康講座」を開催し、50名の参加がありました。海外の薬物事情から身近な薬の正しい使用の必要性など、薬局での豊富な経験を含めたお話を聞くことができました。

14 サイバーダイナミック茨城ロボッツ「那珂市の日」開催

3月27日、水戸市青柳公園市民体育館において、茨城ロボッツ（VS 青森ワッツ）の試合が「那珂市の日」として開催され、市内外から2,227人が来場しました。また、那珂市の日特別企画として市在住・在学のかたを対象に30組60人を無料招待、60組120人を特別割引入場とし、多くの市民にも来場いただきました。

その他、市特産品が当たる抽選会や那珂よさこい連のよさこいソーランの演舞なども行われました。

15 「こども図書館まつり」開催

4月27日から28日の2日間、「こどもの読書週間（4月23日から5月12日）」にあわせ、市立図書館で「こども図書館まつり」を開催しました。

絵本作家の石崎なおこ先生をはじめ、絵本テイナーチーム「ファニーず」、児童サービスボランティア、菅谷地区まちづくり委員会、茨城女子短期大学学生の協力のもと、ワークショップやおはなし会、朗読会などのイベントを開催し、子どもたちが図書館に親しみ、そして本に興味・関心を持つきっかけの場を提供しました。

16 「中世那珂台地の領主」発刊

3月末、市史編さん委員会が「中世那珂台地の領主」を発刊しました。額田城、江戸城を中心として瓜連城、戸村城、南酒出城、古徳城および東海村の石神城、真崎城、

また水戸城を含めた範囲の各領主の興亡を写真や地図などを用いながらわかりやすく編さんしたものです。

歴史民俗資料館、生涯学習課、市立図書館、市中央公民館で販売しています。

17 「おのざきけもんじょかん小野崎家文書巻」調査報告書発刊

3月末、市歴史民俗資料館が「小野崎家文書巻」調査報告書を発刊しました。額田城主おのざきあきみち小野崎昭通から家臣きだまりの木田余氏に与えた書状を解説したもので、昭通に関する書状では新発見のものです。これにより、額田小野崎氏の家臣の一部が明らかになりました。

18 「那珂の端午の節句展」開催

4月20日から5月6日まで、歴史民俗資料館および曲がり屋において、「那珂の端午の節句展」を開催しました。「NPO法人ひろがる和 那珂つるしびなの会」との共催により、大正時代から現代までの、のぼりや内飾り、五月人形、端午の節句のつるしびなが飾られ、開催期間中の来館者は延べ2,000人となりました。

19 学校給食における地場産品の活用について

学校給食における地場産品の活用を推進し、市の農業振興及び地産地消を促進するため、農政課、学校教育課（学校給食センター、栄養教諭）、常陸農業協同組合及び市内生産者による「地場産会議」を立ち上げました。さる4月19日に本年度第1回目の会議を開催し、年間を通じた地場産品の活用向上を目指して、給食の献立内容や生産者から提供可能な野菜について検討しました。

今後も定期的に会議を開催し、関係者の連携のもと地産地消の推進と学校給食の充実を図っていきます。

20 小中学校におけるエアコン整備の進捗状況について

小中学校の普通教室へのエアコン整備については、6つのブロックに分けて3月に工事契約を締結し、各学校において工事を進めています。概ね6月末に工事を完了し、7月上旬から中旬にかけて、順次使用開始する見込みです。

21 市立幼稚園の閉園及び開園について

市立幼稚園の統合に伴い、3月23日・24日に市内5つの幼稚園において閉園式を行い、40年を超える歴史に幕を閉じるとともに、新たに「市立ひまわり幼稚園」が開園しました。4月8日に年長児75名と保護者、多くの来賓の方々とともに開園

式を行い新たなスタートを切りました。

22 八重桜まつりについて

静峰ふるさと公園において、4月16日から29日まで、「八重桜まつり」を開催し、来園者は約4万1千人でした。

4月20日、21日及び27日には、郷土芸能、よさこいソーラン、コンサートや常磐大学生ボランティアによるキャンドルイルミネーション、アマチュアバンドによる音楽祭などの各種イベントを実施し、大勢の家族連れや観光客で賑わいました。

23 第4次那珂市行財政改革大綱策定について

第3次那珂市行財政改革大綱が平成30年度で期間満了となったことから、令和元年度から新たな5年間を見据え、大綱の基本目標である「行政経営の確立」を柱に、「市民とともに進める行財政改革の推進」、「市民ニーズに対応した行政経営体制の確立」、「健全で効率的な行財政経営の推進」を基本方針とする第4次那珂市行財政改革大綱を策定しました。

24 消防業務について

消防訓練指導については、事業所や学校等を対象として28回行い、3,961人が参加して、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。また、応急手当の普及のため、普通救命講習会等を6回行い、159人が受講しました。

火災出場件数は12件、救急出場件数は666件となっています。

さらに、出水期を控え水防体制の強化と防災意識の高揚を図るため、5月25日に日上市留町地先、久慈川において、那珂市・常陸太田市・日上市・常陸大宮市・東海村の4市1村が、令和元年度久慈川水系連合水防訓練を行いました。

令和元年6月4日

那珂市長 先崎 光